

ロンドン、2016年5月18日

Primetals Technologies、インド・JSW Steel社へ全4基のLD（BOF）転炉を引渡し

- プロジェクトの4号転炉を4月に引き渡し
- 計画より9日短い33日間の操業停止で換装完工
- 耐高温クリープ鋼と特別な冷却設計により長寿命を実現
- 炉内容積の拡大でスロッピングを抑制

Primetals Technologies はインド・JSW Steel 社(Jindal South West Steel Ltd.)ヴィジャヤナガル製鉄所第2製鋼工場向けに2014年9月受注の4基のLD（BOF）転炉のうち、2016年1月稼働開始の最終4号基を引き渡し、最終検収書（FAC）を受領しました。他の3基は2015年9月から順次稼働開始していました。新転炉には耐高温クリープ性鋼を使用、空冷・水冷複合システムの併用により長寿命化を実現し、これまでより炉内容積を拡大してスロッピングを抑制しました。

インドの大手鉄鋼メーカーであるJSW Steel社の粗鋼生産量は年間1430万トンで、うち1千万トンカルナータカ州トラナガル市のヴィジャヤナガル製鉄所で生産していますが、既存の第2製鋼工場LD転炉の老朽化に伴い、当社製の新型転炉へ更新されたものです。

新型転炉の出鋼量は各180トンで、炉体には熱変形を抑制するため耐高温クリープ性鋼を適用し、水冷コーン冷却システムと空冷トラニオンリング併用の特別設計で長寿命と保守低減を共に実現。当社は底吹き用設備、トラニオンリング及び支持装置を含む炉体設備、新型傾動装置、上吹きランス用新型クイック交換継手、操業自動化システム一式の納入、据付および試運転の指導、関連する転炉建屋の改修計画を担当し、操業停止を契約より9日短い33日間に圧縮して換装を完工しました。



JSW Steel 社ヴィジャヤナガル製鉄所（インド・トラナガル市）第 2 製鋼工場の
Primetals Technologies 製 LD (BOF) 転炉

原文プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。

www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

Primetals Technologies Japan 株式会社 総務部

〒108-0014 東京都港区芝五丁目 34 番 6 号 新田町ビル 9 階

TEL(03) 5765-5231

Primetals Technologies 公式ツイッター: twitter.com/primetals

Primetals Technologies, Limited は本社を英国、ロンドンに置き、金属鉄鋼産業にとって、エンジニアリングやプラント建設全般の、世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供します。鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野部門にも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工グループで、株式会社日立製作所、並びに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メ

Primetals Technologies, Limited
A joint venture of Siemens, Mitsubishi Heavy Industries and Partners
Communications
Head: Heiko Huensch

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road
W4 5YS London
United Kingdom

タルズテクノロジーズの統合により発足しました。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。発足時の従業員数は全世界で約 9,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト : www.primetals.com